



インターハイが開催されます

8月5日(土)から7日(月)までの3日間  
塩竈市体育館(塩釜ガス体育館)を会場に  
第44回全国高等学校少林寺拳法大会が



2017年7月15日 本山認定研修会(講師:新井庸弘 元財団法人会長)

開催されます。

このインターハイには、地元塩釜高校少  
林寺拳法部の皆さんも出場します。皆さん  
で応援しましょう。

### 本山認定研修会・無事終了

7月15日(土)に元新井会長を講師に迎  
え、塩竈道院専有道場を会場に本山認定  
研修会を開催しました。

朝の鎮魂行から始まり、午前中は講義、  
そして午後は技術修練で心地よい汗を流し、  
楽しい研修会となりました。新井庸弘先生  
には、基本的な動きからご指導いただき参  
加いただいた皆さん一人ひとりが納得出来  
た研修会ではなかったでしょうか。

来年開催の宮城県教区研修についても新  
井先生にお出でいただき開催するよう計画  
したいと思っております。

### 道院専用掲示板を設置

インターハイを契機に、少林寺拳法の名  
前を知っていただくため、塩竈道院・仙台杜  
都道院の活動を知っていただくために道院  
専用掲示板を作成しました。この掲示板に  
は、道院のポスターと毎月発行する道院の  
機関紙『しおかげ』を掲示しております。

拳士の皆さん、年少拳士のご父兄の皆さん

ん設置可能な場所があればご紹介下さい。

### 宗由貴 総裁メッセージ

2017年7月10日発信

少林寺拳法は「人間力」を養う教育に力  
を入れたい。

スポーツに関わるさまざまな分野で、ド  
ーピングやパワハラなど問題は後を絶ちま  
せん。勝利至上主義が生み出す功罪の罪の  
中には、教育によって方向性を修正できる  
ものがあるのではないのでしょうか。

勝つためには自分の身体さえ犠牲にする、  
もしかすると精神もそうかもしれませぬ。

一般社団法人スポーツ・コンプライアンス  
教育振興機構(SPORTSCOMPLIANCE)  
という団体が発足しました。この団体はスポ  
ーツ界のコンプライアンスの強化を図るため、  
コンプライアンス教育の充実を図り、より健  
全なスポーツの普及・振興に資することを



今後の予定

- ◎8月5日(土)～7日(月) インターハイ 塩竈市体育館(塩釜ガス体育館)
- ◎8月9日(水)～13日(日) 花山夏季合宿(国立花山少年自然の家)
- ◎8月26日(土) 18:00から 道院一般拳士暑気払い(ホテルグランドパレス塩釜)
- ◎9月17日(土)～18日(日) 9:00～16:00 地域社会武道錬成大会(宮城県武道館)
- ◎9月30日(土) 9:00～16:00 本山認定研修会(塩竈道院専有道場) 講師:大澤隆代表



目的として活動します。私もこの団体の活動に賛同し、関わりながら勉強していきたいと思っています。

少林寺拳法は社会に役立つリーダーを育てることを目的としており、その基地たる道場の中における指導者のコンプライアンス意識を高めなければなりません。

「自分たちのところは当たり前だった」「指導上の行きすぎ」という言葉もよく使われます。かつてはまかり通った方法がいいかどうかは別に、その目的と方法は時代とともに激変したといわざるをえません。現

代社会においては職場での注意もパワハラとみなされたり、常に言葉遣いに気をつけなければセクハラとなったり、難しい時代でもあります。対象となる人間の育つ環境が変わっている、仕方のないことでもあるのでしようけれど、「異質なものと異論を唱える人を許せず、排除しなければ気がすまない」という人が増えているのは、政治の世界を見てもわかります。

人間は、大人になると表情や言葉遣いなど、その場によって使い分けられることができます。子供のころからだをこね、大騒ぎして自己主張をすれば、自分の思いどおりになると学習してしまつた人。またその逆に、子供のころに度を越えた厳しさの中で自分の感情を封じ込めることで、親にとつての「いい子」を演じ続けたまま大人になつてしまつた人。これらの場合、感情的に自分をコントロールできなくなつたときに、大人であるがゆえに場所を選んで暴発したり、地位や権力など力を得たときに「自分を認めないもの」に対し異常な攻撃姿勢に転じるという傾向があるように思います。

今回話題となつた豊田真由子衆議院議員の暴言・暴行騒動やその後の入院も、議員である前に人として失格はもろろんのこ

とですが、先ほど述べたような大人になる過程に何らかの要因があつたとすれば、学校の成績だけではない、「人間力」を養う教育が今急務と感じます。

少林寺拳法では「拳禅一如」「力愛不二」という教えを大切にしています。前者はその字のとおり、身体だけではなく精神も共に養うことで、人としてのバランスのとれた成長ができるということです。そして後者は、力を伴わない愛(正義)は無力だけれど、愛を伴わない力は暴力であるということになります。

ここ数年、中学校における武道必修化が進められています。しかし、人間力を養う教育は「二つ子の魂百まで」といわれる3歳までの家庭教育と、その後の第三者が関わる義務教育の間の連携が必要です。いきなり中学からではなく、地域とのコラボレーションによつて、もつとトータル的に考えられるべきだと思っています。

そして、少林寺拳法は今後一層「人間力」を養う教育に改めて力を入れたいと考えます。

